

# 大韓民国全国市・道知事協議会訪日代表団の滞在記録

平成16年（2004年）9月1日～4日

全 国 知 事 会

## は し が き

本会は、平成16年9月1日から4日まで、韓国済州道金泰煥知事を団長とする「全国市・道知事協議会」の代表団一行を日本に招待した。

日韓の知事交流は、平成11年に第1回の日韓知事会議を東京で開催して以降、平成14年に第2回会議をソウルで、そして今回3回目の開催となった。

近年、日韓関係は、政治、経済、文化の様々な分野において、まれにみる良好な時代を迎えており、来年は日韓国交正常化40周年を記念して、政府レベルにおいては「日韓共同訪問の年及び日韓友情の年」の宣言と多様な交流事業を予定している。

このような中、今回代表団は、環境問題に係る視察先として産業廃棄物処理問題で注目を浴びた香川県の豊島、直島を、また、大規模プロジェクトの推進をテーマとする視察先には愛知県の愛知万博会場をそれぞれ選定し、担当者と活発な意見交換を行った。

9月2日には東京で第3回日韓知事会議を開催し、「日韓の観光・文化交流の促進」を主議題にその具体策について意見を交換し、これを「共同発表」として取りまとめた。

さらに、東京滞在中、小泉内閣総理大臣、麻生総務大臣を表敬訪問するなど、4日間という短い日本滞在にもかかわらず、一行は精力的にスケジュールをこなし全員無事帰国の途についた。

この報告書は、このような代表団一行の日本滞在の記録である。

この度の日本滞在に当たり、視察先や表敬訪問等に関し様々なご配慮をいただいた各県知事をはじめ関係各位に深く感謝申し上げる次第である。

2004年12月

全国知事会事務総長  
中川 浩明

## 【目 次】

はじめに

I	大韓民国全国市・道知事協議会訪日代表団名簿	1
II	滞在日程	2
III	第3回日韓知事会議の概要	
	1. 会議概要	4
	2. 共同記者会見	12
IV	要人表敬の概要	
	1. 小泉内閣総理大臣	14
	2. 麻生総務大臣	14
	3. 真鍋香川県知事	15
V	地方視察の概要	
	1. 香川県（豊島、直島）	17
	2. 愛知県（愛知万博会場）	18
	[参考資料]	
	1. 大韓民国「全国市・道知事協議会」の概要	21
	2. 大韓民国「全国市・道知事協議会」訪日代表団構成市・道の概要	22
	3. 大韓民国の概要	25
	4. 大韓民国全図	26
	5. 韓国との姉妹提携都市等一覧	27
	6. 第3回日韓知事会議共同発表	28

### Ⅲ 第3回日韓知事会議の概要

(日時) 平成16年9月2日(木) 15時～17時30分

(場所) 都道府県会館3階 知事会会議室

(出席者)

○日本側 全国知事会会長 梶原岐阜県知事(議長)

堂本千葉県知事

片山鳥取県知事

伊藤鹿児島県知事

竹内岩手県副知事

北崎山梨県副知事

村田愛知県出納長

三宅宮崎県副知事

○韓国側 金泰煥(キムテファン) 済州道知事(団長)

朴孟雨(パクメンウ) 蔚山広域市長

金振旻(キムジンソン) 江原道知事

朴峻瑩(パクジュンヨン) 全羅南道知事

金台鎬(キムテホ) 慶尚南道知事

#### 1. 会議概要

##### (1) 会長・団長挨拶

###### 〈梶原岐阜県知事・会長〉

今や日韓関係は、北東アジアにおける先進資本主義国として多くの利益を共有し、各方面においてかつてない良好な関係を築きつつある。去る2002年には日韓共催によるワールドカップサッカー大会が成功をおさめ、来年は日韓国交正常化40周年を記念し、両政府では「日韓友情年2005」として各種の交流事業を実施する予定と聞いている。

世界的に地方分権が進展する時代の中で、地方自治体同士がその実力に応じた交流や国際協力を行うのは当然のことと考えている。

日韓での自治体提携数の増大、韓国における日本大衆文化開放政策、韓国人修学旅行生への査証免除、韓国テレビドラマの日本での爆発的な人気などにより、日韓両国の民衆レベルで相互への関心が急激に高まっている中、本日の議題は「日韓の観光・文化交流の促進」とした。時宜を得たテーマであると思っている。

どうか忌憚のない意見交換により、日韓友好親善の機運を維持しつつ、両国の観光や文化交流を一層拡大・発展させ、日韓両国間の相互理解を更に深めるために地方自治体間、あるいは民間レベルでどのような方策があるのか、また、どのように推進すればよいのかについて検討して参りたい。

本日の会議がご列席各位のご協力により、所期の目的を達成し、大きな成果を挙

げることが切に希望する。

#### 〈金濟州道知事・団長〉

21世紀を指して、地方の世紀または地方化、ローカル化の世紀と言われている。これは統制、若しくは集中という言葉で表現できる中央集権型の体制に代わって、地方が中心の自主、自立そして分権の時代が到来したことを知らしめる非常にシンボリックな表現ではないかと思う。ローカル化の世紀という新しい時代潮流は、政治・経済・社会・文化の多岐の領域に亘り、地方自らが独自の変化の道を模索し、切り開いていくことを要求する。

このような観点から、日韓の知事が一堂に会し、行政をはじめとする様々な分野に関し意見と情報を交換することは大変意義深いと思う。

国境を越えて地方と地方の間の絆を深めかつ強化し、都市間の発展と繁栄を追求するこの知事会議こそ、地方の世紀が求める新しい協力関係の一つのモデルだと思う。

日韓両国はアジアで初めて開催された2002年ワールドカップサッカー大会の感動を今もはっきり覚えている。それは、世界の目をアジアに向けさせるとともに、両国の連帯と絆が成し遂げた快挙であった。両国の自治体が開かれた心で交流を盛んにし、それを土台として国レベルで21世紀の真のパートナーとして、共生と融和を図ることができれば、近い将来世界は再び日韓両国を注目することになるであろう。

本日の会議が、両国自治体の関係を更に生産的なものとし、更に他の模範となれるような関係に発展させるべく、意義ある討論の場となることを、そして、両国知事の真摯かつ未来志向的な貢献を期待する。

## (2) 「日韓の観光・文化交流の促進」についての協議

### ア. 各自治体の取組み状況と提案

#### 〈伊藤鹿児島県知事〉

地理的な特性から、鹿児島県は古くから諸外国との経済・文化交流を活発に行っている。我が県の代表的な伝統工芸品である薩摩焼も韓半島から渡来したものであり、1998年には渡来400年を記念して駐日韓国大使や全羅北道知事を始め多くの関係者を招いて記念イベントを盛大に開催した。

また、県外からの年間観光客約77,000人のうち半数は韓国からのお客様で、特に、姉妹提携を結んでいる全羅北道とは芸術文化交流を積極的に行っている。

#### 〈金江原道知事〉

韓国の中東部にある江原道は、全国で2番目に広い面積を有し、人口は153万人、スキーベルトとしても大変有名で文化資源も豊かな自治体であるが、世界で唯一、江原道の分断自治体を北朝鮮に持っている。

重点施策として、道全体に循環交通網を構築し物流拠点の造成、バイオ・医療機器・新素材を中心とする産業クラスターの造成、東アジア観光のハブ作り、北朝鮮との農林水産・冬季スポーツ交流などの南北協力事業や民族文化祝典の開催による南北の平和統一の土台作りなどを推進している。

また、鳥取県とは10年前から友情を築いており、この間、中国・モンゴル・ロシア地方政府が共に参加する環東海圏知事省長会議、東アジア観光フォーラムや環東海圏観光促進協議会など地方レベルでの国際交流組織を作ってきた。

観光は21世紀の最も魅力のある産業だと思う。2000年代に9億人、2010年代には10億人の観光客を見込んでおり、世界の観光市場において国際競争力を付けるためには、特に、近隣国家と創生の関係を築くべきだと思う。例えば、共同マーケティングや共同の商品開発などが必要である。

さらに、来年、日韓両国政府が設定した「韓日共同訪問の年」、「韓日友情の年」を契機に、地方政府間でも観光事業と関連した協力体制を模索すべきであり、共同のホームページの作成や観光関連の協会の活動や事業への支援、自治体の文化イベントを相互に招聘するなど、交流の土台作りを行っていかばいかか。その後、適切な機会に、両国の地方自治体共同の観光博覧会のようなものを開催してもよいのではないかと思う。

#### 〈片山鳥取県知事〉

金江原道知事からお話があったように、鳥取県は10年前から江原道を中心にした韓国との交流を行っている。それ以外にも全羅南道の羅州市と倉吉市が羅州梨と20世紀梨が取り持つ縁で、また、忠清北道の清州市と鳥取市が交流を行っている。

日本と韓国とは今後ずっと近くの間であり続けるのであるから、世界のどの国よりもこれまで以上に相互理解と相互信頼を深めなければならない。そのためには、相手国の文化や歴史、芸術や伝統、ライフスタイルなどを知ることが必要であり、それが相互信頼に繋がると思う。そういう意味で日韓交流に力を入れている。

韓国との交流には、鳥取県と江原道の子供たちとの合唱公演、剣道・軟式テニス・アーチェリー・カヌーなどのスポーツ競技大会の毎年実施、仮面踊り（韓国）と獅子舞（日本）の公演の実施、学生による柔道大会、経済界の女性を中心とした交流、鳥取県庁・江原道庁職員や子供たちの合唱団の交流、本県のほか、宮城県と富山県が参加した日韓手工芸品の展示会、障害者によるマラソン大会の開催、美術交流などを日常的に幅広く行っている。

日韓両国政府は2005年を日韓国交正常化40周年の記念として「日韓友情の年」とし関連行事を計画しているが、地方団体同士の交流も更に活発にすることが将来の日韓関係に大変有益だと思っている。

#### 〈朴蔚山広域市長〉

日本の都道府県に当たる広域自治体は、特別市、広域市及び道の3種類のカテゴリーがあり、広域市は市街化地域を中心に100万人以上の都市が指定されている。

蔚山広域市は8年前に広域市に指定され、自動車、船舶、石油化学の3つの産業の振興により今日の韓国近代化の礎を築いた。韓国の工業生産額の12%、経済生産の10%程度を占め、産業面での韓国の首都とすることができる。

山口県萩市とは40年余りの姉妹提携の歴史があり、現在も年間3万人以上の行き来がある。自治体同士の交流については、これまでは姉妹提携、友好都市を中心とした交流が多く、自治体の連合体同士がシステムティックに体系的な交流を行うことはまだ盛んになっていないことから、今後は、何らかの方法を模索すべきと思

う。

日韓の交流ムードが未だかつてないほど良好なものとなっている今日、切り離すことのできない隣国として、こうした交流を更に花咲かせていく必要がある。2002年のワールドカップサッカー共同開催以降、韓国は日本の大衆文化を全面的に開放した。そして、文化・芸術の関係者が日本で活発な活動を繰り広げており、特に若者の間で交流が非常に盛んになっていることは幸いだと思う。

このような点も踏まえ、やはり自治体の連合体レベルでの交流、姉妹提携関係を越えたブロック、リージョン単位で総合化する方法や情報を共有するシステムが必要だと思われる。その方法としては、観光パンフレットや案内書、PR誌などの日韓共同での制作・発行、修学旅行の相互訪問、学校単位に実施したり体系的に都市間や地域連合体単位で行うことができれば交流の量が拡大し将来的に相互理解に大変役立つものと思う。

#### 〈堂本千葉県知事〉

他県の韓国との交流状況を伺っているが、千葉県は県自体よりも民間サイドでの交流が活発である。日本舞踊のグループが韓国から公式招待を受け、ワールドカップサッカーの期間中に公演を行ったこと、韓国からガールスカウトの方々がホームステイをされたこと、多数の留学生が来県していることなどが挙げられる。

3年前に知事に就任し、県政の柱の一つとして国を越えた自治体同士の関係強化を目指しており、アジアに目を向けていきたいと考えている。韓国は地理的にも一番近く、成田空港からは北海道、沖縄といった国内の観光地よりも近い。韓国からも多くの人々が千葉県を訪れており、単なる観光だけの付き合いから、様々な分野で競争や協力をしながら本当の意味での友人になるための交流を行っていきたい。それが平和なアジアの形成にも大事なことだと思う。

また、個々の自治体同士の付き合いだけでなく、連合体レベルの交流という提案があったが、全国知事会も最近様変わりし、活動が大変活発になっている。グローバルイゼーションが進むときはローカライゼーションが重要になってくる時であり、自治体間の交流が益々重要になってくると思う。

#### 〈朴全羅南道知事〉

韓国と日本は古くから多くの文化、例えば、米とみそ汁と箸の文化、瓦屋根の家、仏教文化などを共有してきた。文化の多様性にもかかわらず、このように両国が共通の文化的側面を有していることを踏まえ、今後は、何をお互いの目的として取り組むべきかについて考えていく必要がある。更に、両国の置かれた地理的な関係からも、両国の自治体は国家レベルの問題においても中央政府と協力して、北東アジアの平和安定に向けた取り組みを行うべきだと思う。

特に、私の全羅南道は日本と大変深い歴史を有しており、毎年、王仁（ワニ）博士の大きなフェスティバルへの日本人の参加、かつて青磁などの陶磁器を作っていた全羅南道の韓人国と呼ばれた国からの多くの陶工の日本への渡航など多くの繋がりがある。我が道は産業化時代においては多少の立ち後れがあり、依然として農業が主産業であるが、融和と協力の東アジアの時代の中で我々には益々日本との交流を盛んにしていく役割がある。

交流の提案として2点ある。

一つは、国レベルでの国交正常化40周年の記念行事に併せて、自治体レベルでの日韓の国交正常化を祝う、あるいは記念するイベントを計画してはどうかということ、2点目は、来年の愛知万博の成功に向けて我々は支援や応援を行いたい、同時に2012年の海洋博覧会は全羅南道の麗水（ヨス）で開催できるよう、日本の皆様のお力添えをお願いしたい。

#### 〈竹内岩手県副知事〉

韓国の方々には岩手県はあまり知名度は高くはないかもしれないが、歴史的な資源や風光明媚な所も沢山ある自然の豊富な県であり、また、県内から韓国へは年間1万人位が渡航しているので、今後益々の交流を図っていききたい。

2002年11月、岩手県、青森県、秋田県の東北3県と北海道を合わせた4道県が共同してソウルに事務所を開設した。ここでは、特に観光関係の情報を共有して、情報提供や観光プロモーションの実施、観光商品の造成推進などに取り組んでいる。

また、岩手県・青森県・秋田県の3県が共同して韓国から旅行エージェントやマスコミ等の招聘事業を実施し、アジアで最初にアルペンスキーのワールドチャンピオンシップを開催した岩手県の雫石スキー場やゴルフ場などの視察を行っていただいた。

今後は観光交流に加えて、4道県で物産の魅力を紹介するイベントを、2周年目を迎えるソウル事務所開設に合わせて実施したいと思っている。

#### 〈北崎山梨県副知事〉

山梨県は1992年、商工会議所との繋がりを受けて、忠清北道と姉妹県・道の締結をし、一昨年は10周年記念の祝う会を実施した。

先程、日韓交流には県の連合組織による交流も重要という指摘があったが、一つの井戸をより深く掘っていけば地下水脈に当たり、それを通じて韓国全土のネットワークに広がっていくという考え方の下、より深く、太い井戸を掘ることで日韓の交流に貢献したい。

山梨県は富士山などの観光資源に恵まれた大自然の豊富さと、ロボットのファナックを始めとする先進的な科学技術工業が非常に多く立地し、また、リニアモーターカーの実験線もあるなど、日本の最先端技術を我が県で是非見ていただきたいと思う。

#### 〈金慶尚南道知事〉

日本への訪問は10回目になるが、言葉がどれだけ互いに信頼と友情を与える要になるかについての思いが段々と強くなっていく。

私は道知事になって日が浅いが、知事の前は慶尚南道の郡守、その前は議員を務めていた。郡守の時代に鳥取県の青谷町と居昌とは和紙を通じた交流があり、大変深い印象を得た。

慶尚南道は日韓の交流の玄関、家門であり、仏教文化が花咲いた地域でもある。有名な通度寺や海印寺も道内にあり、八万大蔵経が海印寺に所蔵されている。また、自然環境にも恵まれ、ラムサール協約で保存湿地に指定された牛浦沼もある。南部



には巨済島という美しい島があり、「冬のソナタ」のロケ地としても人気が高い。  
経済面では、GDPでソウル市、京畿道に次いで第3位、機械産業や航空宇宙産業が集積している。

本日のテーマではないが、台風被害への対応について提案したい。毎年、3、4個の台風が日本や韓国に甚大な被害を与えている状況を踏まえ、自治体レベルでも情報や技術の共有によって何らかの対策を立てることができると思う。中央政府レベルでは日韓防災会議があり、1999年以降両国で交互に開催しているが、技術交流は皆無と聞いている。従って、自治体レベルでの技術交流を通じてお互いの被害を最小限に抑えることができると思う。

具体的には、両国の自治体公務員の交流や共同セミナーの開催を提案したい。これらを通じて、台風や地震などによる災害の防止、復旧対策の進展が可能と思われる。本日、原則的な合意が得られれば、後の対応は実務者会議を通じて詰めていきたい。

#### 〈村田愛知県出納長〉

来年3月25日から半年間開催される愛知万博のPRのため、本年6月に知事が貴国を訪問させていただいた。万博開催期間中は訪日ビザが免除される予定であり、韓国から沢山のお客様が来られることを心からお待ちしている。

愛知県は工業出荷額が26年連続日本一であり、「モノづくり」が古くから盛んであることから、産業自体を観光資源とした「産業観光」に力を入れている。名古屋市内の産業技術記念館においては、本物の繊維関係の機械を展示し、実演も見るができる。その他、世界ブランドの陶磁器「ノリタケ」の工場見学、「有松・鳴海絞り」の染色を体験できるコースもある。

韓国と本県との文化交流については、愛知万博会場に隣接する愛知県陶磁資料館で開催される「桃山陶の華麗な世界展」において、韓国の現代陶芸作家6名の作品を展示させていただく。

2002年には愛知県美術館でソウル私立美術館の全面協力による「韓国の色と光展」を開催した。

若者の交流についても、愛知県は多数の留学生を受け入れており、県立芸術大学や瀬戸窯業高校の専攻科も交流を行っている。交流に対する貴国の力添えに感謝するとともに、今後とも引き続き努力して参りたい。

#### 〈三宅宮崎県副知事〉

2001年にソウルとの間でアジアナ航空の定期便が就航したことを機に、今後の国際交流は、韓国との交流の拡大を中心に進めることとし、同年、ソウル市に観光経済交流の駐在事務所を開設した。

西暦660年に唐と新羅に滅ぼされた百済王がまつられている神門神社や、朝鮮半島からの文化の影響が色濃く残る西都原古墳群など、本県は文化のルーツとしての韓国との繋がりを強く持っている。

本県の国際交流の役割は、県内の様々な立場の人々の交流を促進する橋渡し役あるいは情報の媒介役と考える。また、次代を担う子供たちの交流、相互理解を中心に据えたいと思っている。

2004年3月から韓国からの修学旅行にビザが不要となったと承知している。今後は全ての公的なビザは免除するように国に要望している。

#### 〈金団長〉

私は自治体としては韓国で最も微力である反面、自然が最も美しい済州道は北東アジアの観光のメッカでありたいと考えている。

済州島では冷戦時代に韓国大統領とゴルバチョフ大統領、1996年には橋本総理と金泳三韓国大統領、今年是小泉総理と盧武鉉大統領と首脳会談が行われ、首脳会談が行われる場所として広く知られている。

小泉総理との会談の折、「これからは日韓両国が北東アジアの平和と繁栄に向かって共同の戦略をとっていく」ことが合意され、特にビザについては前向きの方策を取ることが議論された。

済州道はシンガポールのように国際自由都市を掲げ、現在もビザなし地域であり、日本からは年間15万人が訪れ、日本へは12万人が出かけている。

これから、日韓知事会議を更に発展させるためには両国が中心となって北東アジアの平和を定着させることが重要であり、そのための共同の足取り、協調がいつにも増して必要な時であると思う。

#### イ. 今後の日韓の交流について

##### 〈梶原会長〉

今から7年前、ソウルでマルチメディアコンテンツ振興センターのテープカットに招かれ、隣にカンボンキュン（康奉均）情報通信部長官と肩を並べてのテープカットという栄誉をいただいた。

岐阜県ではテジョン（大田）やチュンチョン（春川）の市長さん方とITを中心とするハイテク関係でのお付き合いがあり、ITの世界でアメリカの一人勝ちを阻止するために大いに交流を進めていきたい。

韓国語の勉強の必要性とともに、食文化の交流も是非行いたい。韓国にはキムチをはじめ宮廷料理など本当にすばらしく健康にも良い料理がある。

本日の会議では主として韓国側から様々な提案があったが、情報の共有や行動の共同という考え方が共通してあるように思う。我々全国知事会としても、日韓の交流を継続的に進める有志の知事の集まりが必要だと思いがいかがか。

##### 〈堂本千葉県知事〉

宜しいのではないかと思う。国レベルとは違う関係を知事や市長との交流の中で築くため、一度どのような可能性があるか具体的に詰めていただいたらどうか。

##### 〈伊藤鹿児島県知事〉

全く賛成である。継続的に日韓の交流活動が進展するような何らかの仕組みを考える時期だと思ふ。

##### 〈梶原会長〉

地方自治体ベースの交流を盛んにする趣旨の会をすぐに作りたいと思う。それには中心となる人物が必要だが、誰が考えても韓国語に堪能な片山知事しかいないと思うがいかがか。

##### 〈片山鳥取県知事〉

よく分かりました。

〈韓国側〉

片山知事の韓国語を拝聴して、きれいな標準語を使われている。本当に良いプランを作られると思う。韓国側は同意する。

〈梶原会長〉

両国の賛同が得られたので、片山知事を中心に全国知事会の中にそのような組織を作ることを取りあえずここで取り決めをしたい。その組織の中でインターネットの使い方、修学旅行の体制のこと、防災関係の進め方など具体的に相談していきたい。

〈堂本千葉県知事〉

インターネット活用の件以外にも、国の40周年事業とともに、自治体の40周年の記念イベントも入れたらどうか。

〈片山鳥取県知事〉

正式な日韓知事会議は2年毎に相互に開催すればいいと思うが、たまたま来年が「日韓友情年」なので、正式な会議とは別に、例えば地方分権や国と地方の関係などの具体的な問題について交流を行ってもよいのではと思う。

先程、私を中心に活動を命じられたので、知事会を通じて具体的な相談を韓国側に行う余地を残しておいていただきたい。

〈梶原会長〉

大変重要な提案だと思う。来年は大変意義のある年であり、第4回日韓知事会議開催の前年に当たるが、空白であってはならない。

来年の節目の年を記念して全国知事会としても何らかのイベント等を行うことで宜しいか。また、来年のことであるので、片山知事のところで案を作っていて早速それを有志の知事の間で協議していただき、韓国の皆様ともご相談することで進めていきたいと思う。

ウ. 「共同発表」の採択

〈梶原会長〉

本日の会議結果について「共同発表文案」を事務総長から読み上げさせます。

(事務総長読み上げ(略) なお、「共同発表文」は参考資料に掲載)

この案で宜しいですか。

〈韓国側〉

了承します。

〈梶原会長〉

ありがとうございます。了承されたので、これを今回の会議の成果として共同発表したい。

エ. 閉会挨拶

〈梶原会長〉

本日は大変熱心に協議をいただき、実り多い会議になったことを心から感謝する。昨年6月の日韓首脳共同声明の中で、それぞれ相手国での「ジャパンウィーク」「 코리아ウィーク」の開催を通じて地方間交流の増進を図ることが盛り込まれた。

知事間交流は両国関係の発展をより一層高いレベルに押し上げるものと大いに期待でき、従って、今回の会議も交流の一層の促進に資する意義を有すると思う。

日韓知事会議の一層の発展と、ご出席の皆様方のいよいよのご活躍とご健勝をお祈り申し上げたい。

#### 〈金団長〉

梶原会長及び日韓の知事の皆様に本日第3回日韓知事会議が実り多きものになったことに対しお祝いを申し上げ、また、真摯に討議に臨まれた関係者各位に感謝申し上げます。

私は本日の会議が両国の観光産業の発展と、文化及び交流の拡大に貢献し、さらに、両国の共同繁栄に向けた貴重な礎になったと確信している。

今後もこの日韓知事会議が両国自治体の理解を深め、友好関係をさらに強化することができる開かれた議論の場となるよう期待する。

会議の準備のためご尽力いただいた梶原会長始め関係者の皆様に心から御礼を申し上げ、2006年、韓国で再度お目にかかれるよう期待している。

#### オ. その他

##### ○記念品の交換

- ・全国知事会から代表団に対し、  
    団長：尾形光琳の紅白梅図屏風が描かれた輪島漆器の屏風時計  
    団員：輪島漆器の宝石箱  
    随員：加賀金箔工芸の写真立て
- ・代表団から全国知事会に対し、  
    会長：螺鈿細工の書類箱  
    出席者：螺鈿細工の筆箱  
    関係者：名詞箱とキーホルダーのセット

##### ○記念撮影

3階ホールで実施

## 2. 共同記者会見

(日時) 9月2日(木) 18:00～18:15

(場所) 都道府県会館4階 411号室

(出席者)

- ・日本側：梶原会長、中川事務総長
- ・韓国側：金団長
- ・進行：石上全国知事会事務局次長

### (1) 代表者による報告

#### 〈梶原会長〉

先程、第3回日韓知事会議が無事終了した。大韓民国から全国市・道知事協議会を代表して金泰煥済州道知事を団長とする5名の市・道知事にご来日いただいた。深く感謝申し上げたい。また、来年「日韓友情年2005」を迎える時期にこのような意見交換ができたことは大変嬉しい。

今回の会議の議題は「日韓の観光・文化交流の促進」であったが、韓国側から具体的で有益な提案をいただき、大変有意義な会議となった。反面、日本側からの提案は具体性に乏しかったと反省しているが、片山鳥取県知事を中心に知事交流を継続的にかつ組織的に進めることとした。日韓友情年を控え、具体的なプロジェクトを至急考える必要がある。

これから日韓関係は、情報や行動の共有を通じて、さらにお互いの連携を進めたいと考えている。

#### 〈金団長〉

先ず、我々韓国代表团をお招きいただきご歓待いただいた梶原会長始め日本側関係者に感謝申し上げたい。また、この会議に興味と声援を送っていただいた両国民とプレス関係の方々にも御礼を申し上げたい。

今回の会議では韓日両国の「観光産業と文化交流の促進」というテーマのもとに真摯な意見交換が行われ、すばらしい提案も多々あった。

私は、今回の会議が観光と文化の世紀といえる21世紀を迎え、韓日両国の実質的な進展に貢献することは勿論、行政経験とそれぞれの分野に関する情報を共有することによって、両国住民の生活の質の向上にも大いに貢献できると信じている。

特に、今回の会議においては、韓日両国政府が国交正常化40周年を迎える来年2005年を「韓日共同訪問の年及び韓日友情の年」と宣告したことに関連し、両国地方政府レベルにおいて韓日両国国民の相互理解を深め、友好親善を図るために様々な協力方策が出るとともに、深い意見交換を行うことができた。

「観光産業と文化交流の促進」に関連する生産的な意見としては、両国地方自治体間の姉妹提携事業の活性化により、スポーツ、文化、観光などの交流産業をより活性化する、両国地方自治体の連合組織に構築されているホームページを利用した地域文化、芸術祭、観光商品などの総合的なPR、2005年愛知万博の成功裡の開催と韓国において推進中の2012年麗水世界海洋博の誘致のための協力方法の模索などが提出された。これらの合意事項は、共同発表文に整理した。

今後も韓日両国の地方自治体間の交流の拡大について、両国中央政府と両国国民の積極的なご声援と関心と参加をお願いしたい。

## (2) 質疑

#### 〈時事通信社〉

片山鳥取県知事が中心となって日韓知事の具体的な交流事業を進めるとのことだが、この組織は現在の会長直属の研究会的なものとして理解してよいか。

#### 〈梶原会長〉

有志の知事の組織になろうかと思う。47都道府県知事に呼びかけて、参加の意思のある知事に参加していただき、進め方はその場で協議していただきたいと思う。

## IV 要人表敬の概要

### 1. 小泉内閣総理大臣

(日 時) 平成16年9月3日(金) 9時40分～9時50分

(場 所) 総理大臣官邸4階特別応接室

(出席者) ○小泉内閣総理大臣

○韓国側 金泰煥済州道知事(団長)

朴孟雨蔚山広域市長

金振旻江原道知事

朴峻瑩全羅南道知事

金台鎬慶尚南道知事

(会 談)

#### 〈小泉総理〉

皆様日本へようこそ。心から歓迎します。

お国の選挙制度について、知事は選挙の際、政党の推薦が必要だと聞いているが  
そうなのか。

#### 〈金団長〉

推薦だけではなく、必ずどこかの政党に属している必要がある。日本ではどうな  
のか。

#### 〈小泉総理〉

日本では推薦は受けるが、推薦してもらったからといってその政党に属する必要  
はない。無所属の知事の方がはるかに多い。私の党に属している知事はわずか2人  
である。

#### 〈金団長〉

今日の5人の知事は全て野党に所属し、一人が民主党で四人がハンナラ党に所属  
している。

#### 〈小泉総理〉

最近韓国ブームで、韓国ドラマが大人気である。先日も「冬のソナタ」のチ  
ェ・ジウさんが官邸に挨拶に来てくれた。

これから皆様は名古屋の愛知万博会場に視察に行かれると聞いている。来年3月  
からの開催なので、韓国からも多くの方々に来ていただきたい。

### 2. 麻生総務大臣

(日 時) 平成16年9月2日(木) 13時15分～13時35分

(場 所) 総務省7階総務大臣室

(出席者) ○麻生総務大臣

○韓国側 金泰煥済州道知事(団長)

朴孟雨蔚山広域市長  
金振旿江原道知事  
朴峻瑩全羅南道知事  
金台鎬慶尚南道知事

(会 談)

〈麻生大臣〉

皆様よくいらっしゃいました。2002年の日韓共同のワールドカップサッカー開催以来、若い世代を中心に両国間の往来が盛んになった気がする。逆に、中国重慶でのアジアカップサッカーでは良いムードではなく、逆の効果を生んだようだ。サッカーだからうまくゆく訳ではない。

〈金団長〉

「冬のソナタ」が日本で大ヒットした影響か分からないが、日本の女性が韓国に関心を持ってきた。日本からも様々なものが韓国に入ってきている。

〈麻生大臣〉

我々の世代で日本から韓国に入るものと言えば、オートバイ、ラジオ、テレビなどの製品が思い浮かぶが、若い世代は、J-POPやファッションなどではないか。

〈金団長〉

自分の子供も日本のゲームのプログラムを読むために日本語を覚えたい、そして日本に行きたいと言っている。そのように、自分たちの身の回りで体験している実質的なものから日本を知っている。

〈麻生大臣〉

日本が強制しているのではなく、学校で指導しているものでもなく、自分達が勝手に好きなところから入っていくのは誠に自然でありいいことだと思う。我々の世代も昭和20年代にアメリカの音楽が入ってきた時、あのよう歌いたいと思った。

〈金団長〉

今年7月に濟州島で小泉総理と盧武鉉大統領の日韓首脳会議があり、来年が日韓国交正常化40周年を迎えることもあり、北東アジアの平和安定のため相互に役割を持って努力していくことが話し合われた。

麻生大臣も韓国に非常に関心が高いと聞いているので、これからもよろしく願いしたい。

〈麻生大臣〉

こちらこそよろしく願いしたい。

### 3. 真鍋香川県知事

(日 時) 平成16年9月1日(水) 14時30分～15時

(場 所) 香川県庁特別会議室

(出席者) ○香川県側 真鍋武紀知事

増田稔県議会議長

尾崎道広県議会副議長

組橋啓輔日韓友好議員連盟会長

川北文雄副知事  
泉浩二出納長  
多田健一郎政策部長  
山下幸男知事公室長  
○韓国側 金泰煥濟州道知事（団長）  
朴孟雨蔚山広域市長  
朴峻瑩全羅南道知事  
金台鎬慶尚南道知事

（会 談）

### 〈真鍋知事〉

皆様ようこそ香川県にお越しいただき、県民を代表して心から歓迎する。

お国と本県は、定期航空路や国際コンテナ定期航路が就航し、様々な分野での交流を通じて大変身近な親しい国である。

香川県の昔の名前である「讃岐」は、最近「讃岐うどん」で日本中に大変なブームを起し、お国でも2号店を開業させ、情報発信拠点の役割を果たしている。

また、特区制度を活用し、昨年11月には瀬戸内海国際観光特区の認定により、お国からの団体観光客の観光ルートに瀬戸内海の島嶼部が入っている場合には、短期滞在査証の発給手続きが簡素化されることとなった。

環境問題については、本日、視察いただく直島には「直島環境センター」があり、島から約5km離れた豊島に不法投棄されていた60万トンを超える廃棄物をこのセンターで中間処理するとともに、処理に伴い発生する副産物の再利用を図っている。本県ではこの事業を契機に直島町とともに循環型社会のモデル地域を目指し、環境産業を育成する新しいまちづくりを進めるとともに、太陽光発電など新エネルギー導入やリサイクルの技術開発に取り組む企業への支援など先進的な環境施策を推進している。

私は、国レベルだけではなく、地方レベルでもそれぞれの地域が持つ特性を活かしながら、交流と協力を積極的に進めていくことが大切であると考えている。

どうか皆様方には今回の訪問が実り多いものとなり、その成果を活かされるとともに、韓国と日本、ひいては香川県との友好交流がますます深まることを祈って歓迎の挨拶とする。

### 〈朴蔚山広域市長〉

台風16号の影響が残る大変な時期に訪問することになった我々一行を、貴重な時間を割いて温かくお迎えいただき心から感謝申し上げます。

私は日本で最初の国立公園である瀬戸内海国立公園があるこの香川県高松市は本当に美しい都市であるという話や、多くの韓国人が旅行に来ているとの話を聞き、必ず一度は訪ねてみたいと思っていた。

本日、念願叶ってこのように訪問することができ、真鍋知事をはじめ関係者の方々の温かいおもてなしを受けたことに感謝し、また、断片的ながら香川県を見渡し、香川県の名声がひとりで生まれたものではないことを改めて実感した。

今回の訪問が香川県の発展と日韓両国において新しい同伴者としての関係を築き



上げることにより大きく寄与することを祈念する。

## V 地方視察の概要

### 1. 香川県（豊島、直島）

（日 時）平成16年9月1日（水）16時10分～17時30分

（場 所）香川県直島環境センター

（出席者）○香川県側 多田健一郎政策部長  
山本伸二環境森林部長  
前田幸保資源化・処理事業推進室長  
合田順一直島環境センター所長  
○韓国側 金泰煥済州道知事（団長）  
朴孟雨蔚山広域市長  
朴峻瑩全羅南道知事  
金台鎬慶尚南道知事

（説明と質疑）

#### 〈合田所長〉

このセンターでは、ここから5km離れた豊島から産業廃棄物を搬入し、1,300℃を超える高温で熔融処理している。その結果、ゴミを100とすれば、40は分解、5は熔融飛灰、残りの55は「熔融スラグ」という副成物となる。熔融スラグはコンクリートを作るときの砂の代替品、骨材として有効利用している。また、熔融飛灰はセンターの隣にある三菱マテリアルの工場の中で処理する。

#### 〈朴全羅南道知事〉

ゴミを廃棄した業者はどのようになったか。

#### 〈山本環境森林部長〉

裁判で刑事罰を受けた。ただ、当時の刑事罰は大変甘く、その業者は罰金50万円、懲役9月、執行猶予6ヶ月の判決となり、刑務所には入っていない。

#### 〈朴全羅南道知事〉

センターの維持管理経費は年間どのくらいか。

#### 〈合田所長〉

ランニングコストとしては年間28億円。

#### 〈金慶尚南道知事〉

日本では1万度以上の高温で焼却するプラズマ工法があると聞いたが、1,300度で焼却するというのは。

#### 〈合田所長〉

豊島の廃棄物は土砂が多く含まれており、また、ダイオキシン類濃度の一番高いところでは39ナノグラム（土壌の基準は1ナノグラム）である。これらを分解したり熔融するための温度として設定している。

#### 〈朴全羅南道知事〉

ここでは全国からの産業廃棄物を処理しているのか。

#### 〈合田所長〉

このセンターでは、豊島の廃棄物と直島の家庭ゴミを処理している。全国には、豊島を上回る80数万トンのゴミが岩手県・青森県境に、岐阜県山中に豊島規模のゴミが不法投棄されており、また、その他にも全国でこのような廃棄物の埋め立て不法投棄事例があり、その処理対応について様々な検討がなされている。

## 2. 愛知県（愛知万博会場）

（日 時）平成16年9月3日（金）14時30分～15時30分

（場 所）愛知万博長久手会場こどもホール並びにコモン1、2及び総合児童センターの展望台

（出席者）○愛知県側 菅沼恵勇愛知県顧問

守谷治（財）2005年日本国際博覧会協会儀典次長兼儀典グループ長

浜田伸子（財）2005年日本国際博覧会協会儀典グループ調査役

○韓国側 朴孟雨蔚山広域市長

朴峻瑩全羅南道知事

金台鎬慶尚南道知事

（挨拶）

#### 〈菅沼顧問〉

愛知万博誘致のきっかけは、1988オリンピックでソウルに敗れたことであり、1988年のオリンピック閉幕後すぐに愛知万博の開催意向表明を行った。1988年オリンピックの開催地決定の投票では、名古屋は27対52の大差でソウルに敗れたが、2005万博の投票数も奇しくも同じ52対27で、今度は日本・愛知がカナダ・カルガリーを破った。

今年の6月には神田知事自ら韓国に出向き、万博のPRを行ってきた。是非とも皆様方のご支援をお願いしたい。

（説明と質疑）

#### 〈守谷次長〉（パワーポイント及び2Dシュミレーターによる概要説明）

##### □愛知万博の概要

・正式名称：2005年日本国際博覧会（The 2005 World Exposition, Aichi, JAPAN）

・テーマ：自然の叡智（Nature's Wisdom）

・開催期間：2005年3月25日～9月25日（185日間）

・開催場所：名古屋東部丘陵（長久手町・豊田市・瀬戸市）  
長久手会場、瀬戸会場

・会場建設費：1,350億円、運営費：550億円

・目標入場者数：1,500万人以上

・主催者：（財）2005年日本国際博覧会協会

□会場概要 会場は2箇所に分かれており、一つは長久手会場（158㈬）、一つは瀬戸会場（15㈬）で、両会場はロープウェイで結ぶ。造成はできる

だけ現状の地形と緑を残した開発とし、パビリオンは平地に集中させた。会場の地形は40%の高低差があるため、身障者や高齢者に配慮した木製のデッキで各施設を連結する計画とした。これは「グローバルループ」と名付け、全長が2.6km、幅21%、地表面との高低差は最大14%ある。

#### 〈韓国側〉

体系的に博覧会の準備がされており驚いている。博覧会実施による経済効果と跡地利用について伺いたい。

#### 〈愛知県側〉

経済効果については様々に試算がなされており、今細かいデータは示せないが、会場建設費で1,350億円、運営費で550億円、その他パビリオンの支出、道路、鉄道等のインフラ整備費、予想入場者1,500万人の旅費、宿泊費などなど直接、間接経費を合わせると巨大な経済効果が期待できると思う。

跡地利用については、基本的には元の自然の姿に戻すことになるが、パビリオンの中には残すもの、移設するものがあるかもしれない。

#### 〈韓国側〉

事業予算中、国の補助金はどれほどか。

#### 〈愛知県側〉

会場建設費の1,350億円は閣議了解されたものだが、その内訳は、国、地方公共団体、民間が1:1:1の負担で各450億円となっている。なお、博覧会で自治体と民間がこれほど多く負担するケースは初めてである。

#### 〈韓国側〉

障害者や高齢者等に配慮して工夫を凝らしているところが素晴らしいと思った。博覧会のマスコットである「モリゾー」と「キッコロ」が決まった背景や意味合いは何か。

#### 〈愛知県側〉

デザインは市民からの公募で選定した。名前は森を守るシンボリックな名称としている。

なお、先程の運営費の550億円も閣議了解されたものだが、ほとんどを入場料収入で賄うが、民間の出展料、「モリゾー」などマスコットの販売収入も大きな収入確保の手段である。

#### 〈韓国側〉

1,500万人の予想入場者のうち、外国人はどの程度を見込んでいるか。

#### 〈愛知県側〉

1割の150万人と推定しているが、その大半をアジア各国からの入場者と予想しており、韓国からは40万人を想定している。

#### 〈韓国側〉

工事の実施主体は。

#### 〈愛知県側〉

博覧会の開催自体は国が主体であるが、(財)日本国際博覧会協会が受託して実施

している。

**〈全国知事会〉**

閉会後にシンボルのようなものは残すのか。残すべきではないのか。民間パビリオンは外国のものも入っているか、その際の費用は。また、中部国際空港完成後の現在の名古屋空港の使用形態は。

**〈愛知県側〉**

跡地利用の検討委員会がシンボルの的なものの残し方を協議している。会場建設費である1,350億円には民間パビリオンの建設費は入っておらず、民間が建設費を負担する。外国企業は入っていない。また、名古屋空港はコミューター空港としての利用を考えている。

**〈韓国側〉**

2012年に海洋博覧会を麗水に誘致したいと思っている。愛知万博の成功とも合わせてお互い助け合いたい。

**〈愛知県側〉**

お手伝いできるものがあれば協力したい。

**〈韓国側〉**

パビリオンの展示内容の決まっているものはあるか。

**〈愛知県側〉**

現在中身を詰めている段階である。公式ガイドブックなどの作成ももっと後になる。今後各国のパビリオンは9月14日に協会から各国に引き渡し、内装工事をオープン間際の来年3月まで行うことになる。中身のコンセプトは大体公表されているが、具体的な内容は直前まで分からない。逆に早く公表することで魅力がなくなることとも考えられる。

### 第3回日韓知事会議共同発表

- 我々日本と韓国の両知事及び市長は、2002年、大韓民国ソウルで開催した第2回日韓知事会議に引き続き、本日、第3回会議を日本東京都内において開催した。
  
- 本日の会議では、日韓両国政府が、国交正常化40周年を迎える来年2005年を、「日韓共同訪問の年及び日韓友情の年」として宣言し、多様な交流事業を準備していることと連携して、両国地方政府の次元においても、両国民の相互理解の増進と友好親善を積極的に図るための検討を進めることが話し合われた。
  
- 会議の主議題である「日韓の観光・文化交流の促進」については、日韓両国政府の国交正常化40周年関連事業も念頭に置いた地方自治体次元での相互の交流協力協調方策が話し合われ、具体的な方策として、
  - 両国の地方自治体間姉妹提携事業の拡大、スポーツ、文化、観光など分野別交流事業の活性化及び定例化
  - 両国地方自治体連合組織に構築されているホームページを活用した地域文化、芸術祭等の情報発信及び共同観光商品などの開発
  - 両国地方政府による共同の自治体観光博覧会の開催
  - 修学旅行の相互訪問の体系化
  - 2012年世界海洋博覧会の開催に向けての協力体制などが提案され、今後その具体化に向けての検討を行うこととした。
  
- 主議題以外の提案として、
  - 台風、地震のような災害の予防や復旧に関し、相互の情報提供、両国地方公務員の交流、技術セミナーの開催等地方政府次元での定期的な技術交流方策
  - 日韓国交正常化40周年を記念したフォーラム等の開催などが提案され、今後検討することとされた。  
また、日韓自治体間交流の一層の推進を図るための体制を作ることとした。
  
- 日韓両国の地方自治体が更に発展し、国際的な流れとしての地方分権がより活発となり、地方自治の基盤が確固となることを期待しながら、次回の第4回日韓知事会議は、2006年大韓民国で開催することで合意した。

2004年9月2日

日本国全国知事会会長  
梶原 拓

大韓民国全国市・道知事協議会訪日代表団団長  
金 泰煥